



イタヤカエデ [板屋楓]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

新緑と黄葉が美しいカエデで葉は浅く5~7裂する。葉に鋸歯がなく、表面に光沢がある点が他のカエデと異なる。主に太平洋側の日当たりよい斜面に自生し、カエデの中では生長が速く雄大になる。名前の由来は、葉がよく繁茂して板屋根のように雨をしのげるためと言われる。



Memo

在来種のカエデの中で樹液に含まれる糖分が一番多く、早春にはシロップを採取することができる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実										■			
紅葉・黄葉											■		
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■ (春先の活動が早いいため2月上旬までがよい)											■


好みの環境				
日 当 り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○	○	○		

ポイント 地域により個体差があり、アカイタヤ、エゾイタヤ、オニイタヤなどの総称としてイタヤカエデと呼ばれることもある。黄葉を楽しむには西日を避けた水はけのよい肥沃地が適することは共通する。

剪 定 落葉期に、山に自生する風情を残すよう枝抜き剪定にて樹形を整える。春先の活動が早いいため2月上旬までがよい。切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布する。

病虫害 樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害を受けやすい。幹下に木屑を見つけ次第駆除する。新緑時はアブラムシの被害に注意する。

呼べる蝶  ミスジチョウ
ヤマキマダラヒカゲ（樹液）